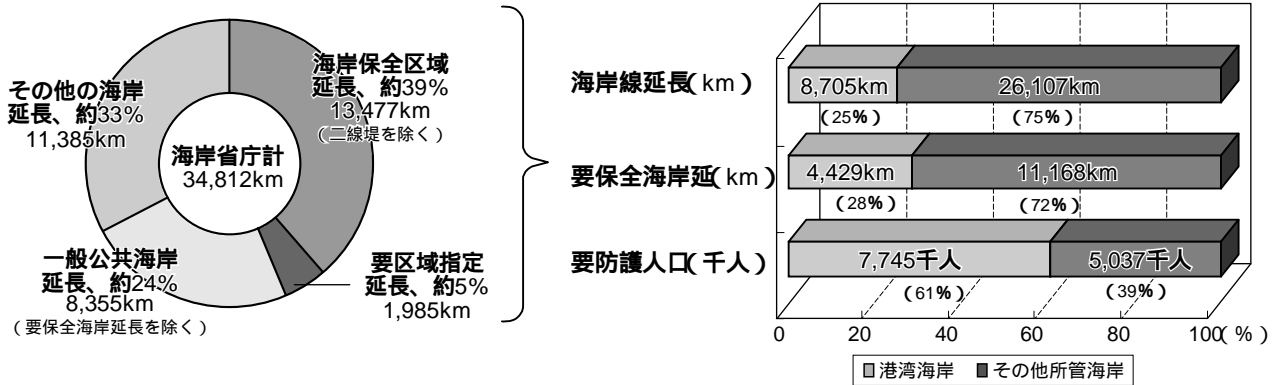


# 海岸関連データ

## 防護人口の61%を占める港湾海岸

港湾海岸は、災害から防護が必要な海岸のうち延長では28%であるが、防護人口の61%を占めるとともに、背後に物流・産業機能が高密度に集積している。

三大湾をはじめ、早くから海岸保全施設の整備が進められてきた海岸が多く施設の老朽化も進行し改良や再整備、耐震補強等のニーズが高まっている。

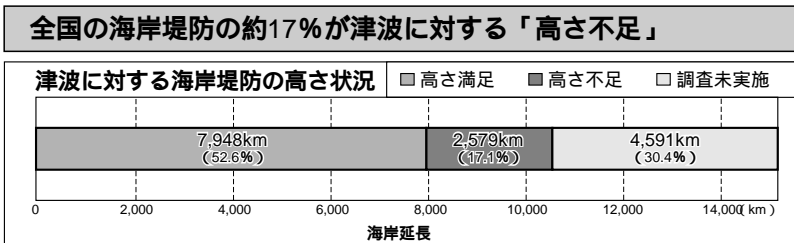


- ・ 海岸保全区域延長：海岸保全区域に指定されている延長
- ・ 要区域指定延長：都道府県知事が今後5年以内程度の間に新たに海岸保全区域を指定し、海岸の保全をしたいとしている延長

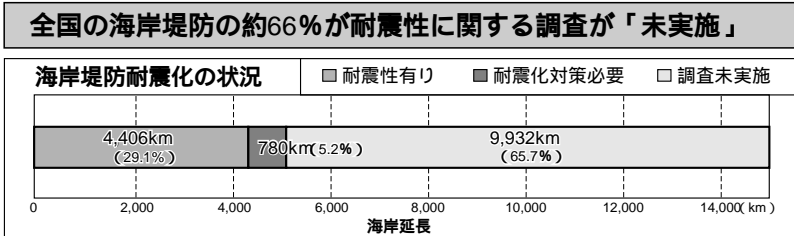
## 海岸における津波対策の現状

多くの堤防、水門等において、地震・津波に対する防護効果が不足、または地震時に有効に機能するか不明である（平成16年5月：海岸省庁調査）。

### 堤防の高さ

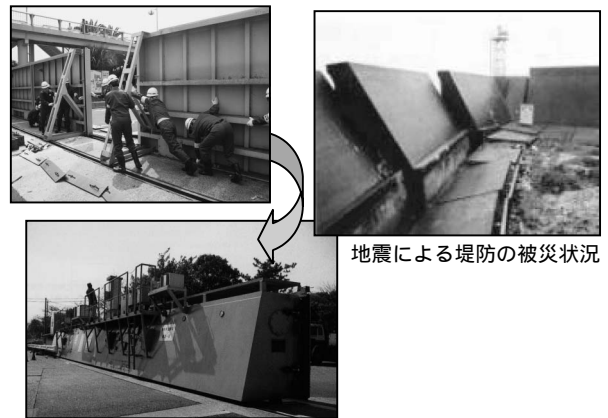


### 堤防の耐震化対策



チリ地震(1960年)による津波被害 (岩手県 大船渡港)

### 水門・陸閘等の閉鎖施設



地震による堤防の被災状況

水門・陸閘の自動化